



2025 - 2026 会長方針 //

高知東RCメンバーとして
矜持を持ち、他者を慮ろう



第2632号
週報
9月17日.2025

本日 9月17日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知

ガバナー補佐訪問例会

次週 9月24日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知

ゲストスピーチ

「あんばんの裏話」

日本放送協会高知放送局 局長 海老原 史氏

第2678回 例会報告／令和7年9月3日 天候 晴

◇ロータリーソング

「君が代」

「四つのテスト」

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。
9月に入り暦の上では秋
になりましたが、まだまだ
残暑が厳しく、新型コロナ
の変異株も流行して
います。体調管理を怠ら
ないようにお過ごしくださ

い。よろしくお願いいたします。

9月は防災月間、1日は「防災の日」でした。これは1923年9月1日に発生した関東大震災を教訓として制定されたもので、今年で102年目となります。当時の被害は甚大で、死者・行方不明者は10万人を超え、日本近代史において最も大きな自然災害の一つです。日本は地震など世界有数の自然災害大国と言われています。近年でも2011年の東日本大震災、2018年の西日本豪雨災害、2024年元日の能登半島地震と、記憶に新しい出来事が数多くあります。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、私たち自身も明日は我が身であることを常に肝に銘じておかねばなりません。

「備えあれば患いなし」という言葉もありますが、日頃の備えを今一度見返してみてもいかがでしょうか。例えば、水は1日1人当たり3ℓ、自治体の推奨は最低3日分の備蓄ということですので、1人9ℓの水が必要に

なります。今日を機会に消費期限を確認して、消費しながら補充していくローリングストック法を実践するのもいいのではないのでしょうか。

我が家は妻も娘も防災士です。その私どもでも、備えはというと少し疑問が残るところではあります。妻には週報を毎週持ち帰るように言われているため、ここからは人災を招く恐れがありますので、会長挨拶はここまでとします。

本日の卓話は、元会員の内田塗料株式会社代表取締役社長、内田さんの「龍馬生誕祭」です。久しぶりにお会いできて大変嬉しく、お話を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

◇9月の会員祝日（敬称略）

・会員誕生日

寺村 勉

押栗 全志

・配偶者誕生日

竹村 朱美

山村 雅子

西内 恵子

・家族記念日

竹村 克彦

・入会記念日

岡本 淳一

広瀬 雅彦



島村 信一 石川 健

石井 春年 押栗 全志

◇幹事報告

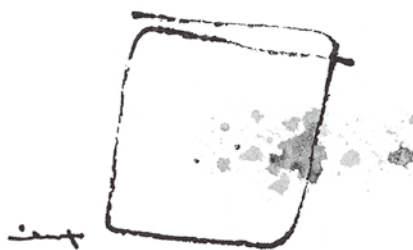


- 9月9日～11日開催の情報集会について、ホワイトボードに掲載しています。変更ある場合は、幹事まで。

- 今月のロータリーレート

トは1ドル147円です。

- 例会終了後に理事会を行います。



◇ゲストスピーチ

内田塗料(株) 代表取締役社長 内田莊一郎 氏

「時空を超える絆」



8年前まで、高知東RCに所属させていただいて、今日は久しぶりに懐かしい顔がたくさん見えて、嬉しく思っています。

坂本龍馬は今でこそ大変有名ですが、明治時代、全国的にも高知でもほとんど知られていませんでした。龍馬が全国的に有名になったのは2冊の本のおかげだと思います。1冊目は明治16年発行の「汗血千里の駒」という坂崎紫瀾、30歳のときの作品で、坂本龍馬が亡くなった後に書かれた最初の龍馬伝だと思います。

坂崎紫瀾は、1853年、土佐藩の医者・坂崎光雲の次男として江戸藩邸で生まれ、4歳のとき高知に帰ってきました。藩校致道館に学び、自由民権運動家、新聞記者、歴史小説家、講釈師などとして活躍しています。明治16年1月14日から土陽新聞に連載をはじめ、不敬罪で入獄した3カ月の休みの後、再連載をして同年9月27日に完結。新聞掲載中から大きな反響を呼び、単行本となり、明治のベストセラーになりました。

2冊目は皆さんもご存知のと通りの司馬遼太郎の長編時代小説「竜馬がゆく」です。昭和38年から41年にかけて、文藝春秋全5巻で刊行されました。1968年、NHKで「竜馬がゆく」が放映され、下宿先で遠慮しながらも、

ワクワクして見ていたのを思い出します。世間一般の坂本龍馬像は、この時代小説並びにNHKのドラマでイメージされるのではないかと思います。

龍馬の誕生地の記念碑は、私の会社の南前にあり、除幕式には私の祖父が町内会代表として名前が載っています。その後、龍馬誕生祭ができたとき父が副会長として参加。祭主であった上町病院の町田速雄先生が亡くなった後に、私が会長となり今に至っています。ここに上町病院院長夫人の田中十糸子さんの、坂本龍馬先生誕生地と書かれた文章があります。

(文章読み上げ)

戦前までは、龍馬が生まれた家の一部が残っていて、そこには田中光顕伯の字による誕生地の石碑が寂しく建っていたそうです。坂本龍馬誕生地の屋敷は、昭和16年、郷土史研究の大家であった寺石正路先生がいち早く旧屋敷の保護を主張し、さらにこの地に神社を建立すべく計画されていましたが、昭和20年7月の高知大空襲により旧屋敷も石碑も焼失してしまったそうです。その後、昭和26年10月頃、高知市役所公民課が重要文化財保護事業の一環として市内10カ所を選び、その第一次として3カ所を選定しようとしていました。

このとき、寺石先生は直ちに高知市文化財保護委員会を介して優先的推薦を公民課に申請、幸いにも認められたそうです。このときに認められていなかったら、今の誕生地の碑はなかったかもしれません。

記念碑建設資金として当時のお金で5万5,000円を目標とし、現在の場所の北側、街路樹のあったところを設置場所としていました。当時の氏原一郎高知市長より1万円の補助交付金をいただき、建設資金は地元有志、青年団の全面的協力、また広く市内有志の物心両面の後援をお願いし、多数の協賛のもとに5月3日起工式、5月22日竣工、5月24日官民多数のご臨席のもと盛大に除幕式が挙行されました。なお、碑文揮毫を吉田茂総理大臣にお願いしたところ、快くお引き受けいただいたそうです。

この後、毎年11月15日には本町筋界隈の有志が集い、記念碑の前でささやかなお祭りが催されていました。しかし、灯台下暗しの如く誕生地はあまり広く知られておらず、参加者も少なかったそうです。そんな中、郷土愛、コミュニティの住民意識の高まりもあって、この不世出の偉人の誕生地、幼少期を育んだ地域をもう一度見直し、多くの人々にも知ってもらおうという声が高まりました。そこで、旧本町筋1丁目町内会・上町町内会連合会が主体となって、この意義ある行事をより公に盛大に行おうということになり「龍馬祭」と銘打って、高知市の行事にまで発展させようと、龍馬祭実行委員会を結成。日本の大巨星としての坂本龍馬先生の誕生地を懐古し、その遺徳をしのび、功績を顕彰することを目的としています。

昭和54年、今は亡き上町病院院長の町田速雄先生が祭主となり、第1回龍馬誕生祭を挙行。以来、平成17年第27回まで行われましたが、遺憾ながら町田速雄先生がお亡くなりになり、その後、我々が引き継ぎ、今回で47回目を迎える予定です。2008年、第30回するとき、

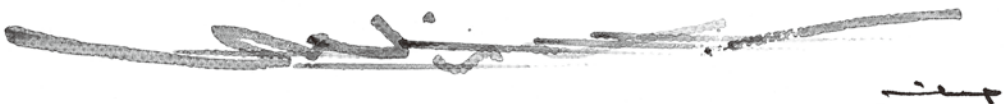
高知中央RCの長崎会長さんから、龍馬記念祭に参加したいとの電話があり、以後、記念碑の清掃や樹木の伐採、ご寄付をいただいています。また、12年前からは、高知法人会の方々が記念碑周辺の花壇を色とりどりの花で飾ってくださって、大変感謝をしています。

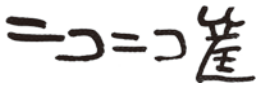
龍馬誕生祭は、開会挨拶の後、出雲大社神官による神事、来賓者の玉串奉奠の後、知事、市長の祝辞、龍馬さんに関する講話、高知市立第四小学校の生徒による龍馬さんへの手紙、高知市立城西中学校生徒による龍馬新聞の紹介、上町保育園園児による鼓笛隊の演奏、上町町内会婦人連合会による賛歌合唱などです。

運営費用は、高知県観光コンベンション協会、高知市観光協会からの補助、升形から上町5丁目までの住民の方々や有志の方々の寄付をいただいています。上町病院のご支援、地元の皆さま、高知中央RCの皆さま、高知法人会の皆さま、龍馬祭実行委員会の皆さまのご協力をいただき、今後も龍馬誕生祭を続けていきたいと思っています。

今のようにテレビも携帯もない時代に、いかにして龍馬は正確な情報を手に入れたのか。新幹線も飛行機もない時代に、龍馬の行動力には想像もできない熱いエネルギーを感じます。家臣も財力も軍事力もない、単なる素浪人がどのようにして天下を動かしたのか。その答えではないかと思われる文章が2017年11月15日に発行された「坂本龍馬大鑑」の中にあります。その文章の抜粋をご紹介します。終わりたいと思います。

「坂本龍馬は人間愛の人。彼がなした偉業の数々には必ず和があり、そこに関わる人たちの誇りや立場に対する深い理解がある。龍馬はあらゆる対立や不信や疑念をやすやすと越えて、人々を結びつけてしまう。(中略)相手の立場や思いを汲み、目線を同じくして話ができる。そういう龍馬の人間愛が人々に作用し、化学変化をもたらし、ついには時代を動かした」





- ・西森良文 内田さん、本日はありがとうございました。昨日の新聞に元会員がうつば研究家として出ていました。
- ・野町和也 内田先輩、本日は卓話ありがとうございました。そして、再入会おめでとうございます。
- ・前川美智子 内田さん！「おかえりなさい」今日は卓話ありがとうございました。
- ・藤田健治 この度は、高知中央高校ダンス部へご支援、ご協力いただきありがとうございました。オーストラリア世界大会ヒップホップ部門2位。これからも応援よろしく願いいたします。ありがとうございました。
- ・押栗全志 入会記念と誕生日祝いありがとうございます。入会して丸2年経ちました。私一人のためのバースデーソングありがとうございました。
- ・竹村克彦 妻の誕生日と結婚記念日のダブルで品をいただきました。妻の誕生日に花束

を贈りました。

- ・西内俊介 家内の誕生日祝いありがとうございます。20代のときの写真を見ると、月日の流れを感じます、お互いに。
- ・山村一正 配偶者誕生日祝いありがとうございます。雅子1年間ご苦労様！ と言っておきます。
- ・島村信一 家庭記念日のお祝いありがとうございます。
- ・広瀬雅彦 入会記念のお礼。ネクタイ毎週つけてます。入会して6年になりました。
- ・石川 健 家庭記念日祝っていただきありがとうございます。あと3年で結婚50年です。妻とともに元気に迎えるようにガンバります。
- ・岡本淳一 入会記念のお礼。
- ・石井春年 入会記念ありがとうございます。早いもので3年目突入です。ネクタイ大事にします。
- ・ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもありがとうございます。

■高知東RC当面の日程

- 9月24日(水) 役員会
- 10月1日(水) ガバナー公式訪問例会
定例理事会
- 10月8日(水) 創立記念夜間例会
(ザ クラウンパレス新阪急高知)

- 10月9日(木) 高知東RC創立記念日
- 10月15日(水) 休会
- 10月22日(水) 役員会
- 10月29日(水) ロータリー休日

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ (チビニコ含む)
先週まで	276,895円
9月3日	30,100円
今期の累計	306,995円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	メイクアップ	HC出席率	出席率
9月3日	⁻⁵ 51	42	3	1	82.35%	93.48%
8月20日	⁻⁶ 51	34	0	11	66.67%	100%

- 会長／西森良文 ●幹事／野町和也 ●雑誌会報委員／押栗全志・森田倫光
- 例会日／毎週水曜日12:30PM～1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務局／高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局／hcrc@coffee.ocn.ne.jp 広報IT委員会／info@kochi-east-rc.com